

令和6年度 尾張旭市市民活動促進助成事業候補選定会議
公開プレゼンテーション会議録

1 開催日時

令和6年5月18日（土）

開会 午前10時

閉会 午前11時50分

2 開催場所

尾張旭市渋川福祉センター 研修室

3 出席者

【候補選定会議候補選定員（以下「選定員」という。）】

金城学院大学国際情報学部 教授 齊藤 由香

認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー 西村 健

市民生活部長 大津 公男

市民生活部暮らし政策課長 山田 明德

【参加団体】

① NPO子育て支援・相談カフェ コルミッコ

② 循環型生活研究会（ラブリ）

③ 一般社団法人 ジモートアート

④ コミュニティ・ホッ，ト・たいむ

⑤ NPO法人 ルカ子ども発達支援ルーム

⑥ 尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会

⑦ Club Atletico GIRASOL

⑧ 尾張旭家族でクラシック実行委員会（KAZOCLA・ASAHI）

【事務局】

市民活動支援センター所長 西川 敏也

市民活動課コミュニティ係 伊藤 男旗

市民活動支援センター 松原 めぐみ

市民活動支援センター 丸山 英子

4 会議概要

選定員の紹介

申請事業プレゼンテーション・質疑応答

選定員講評・会長総評

閉会あいさつ

5 会議の要旨

事務局	<p>定刻になりましたので、ただいまから「令和6年度市民活動促進助成事業候補選定公開プレゼンテーション」を開催します。</p> <p>本日の助成事業候補選定員4名の方々をご紹介します。</p> <p>《選定員紹介》</p> <p>《進め方を説明》</p>
<事業説明>	
①NPO子育て支援・相談カフェ コルミッコ	
<質疑応答>	
西村選定員	<p>トップバッターの発表ありがとうございました。</p> <p>1年前から活動を始められて、たぶんいろいろ想定されていないことも起こった大変な1年を過ごされたかと思いますが、具体的ところで2点お聞きします。まず、クチコミからチラシの配布にしてPRをレベルアップするとのことで、その枚数とか配付を予定している施設の数とかは想定されていますか。</p>
NPO子育て支援・相談カフェ コルミッコ	<p>支援センターとも相談して、1,000枚印刷して、支援センターから公民館とかに配置してもらい、あとの残りのものをそれぞれで保育園や児童館で説明をしながら置いてもらおうと考えています。</p>
西村選定員	<p>支援センターを活用していただけるのは心強い部分でありますので、ありがとうございます。</p> <p>もう1点お聞きしたいのが、電話回線をひくというところが、これもたぶん大きなチャレンジだと思いますが、資料を拝見すると、スマートフォンとのことなので、ある意味24時間もしかしたら電話がかかってくるのが考えられると思うのですが、電話対応することに対しての体制だとか役割分担は考えておられますか。</p>
NPO子育て支援・相談カフェ コルミッコ	<p>電話対応については、それぞれ皆、仕事を持っていますので、とりあえず今年度に限っては考えてなくて、全てLINE相談予約で、LINEのQRコードをチラシや私たちの名刺に載せており、そこで相談予約をしていただくという形をとっていかうと思っています。</p>
西村選定員	<p>チャットで始まるメッセージのテキストのコミュニケーションで始まるということですね。</p>
NPO子育て支援・相談カフェ コルミッコ	<p>電話では受け付けない形でいかうと思っています。</p>

<p><事業説明></p>	
<p>②循環型生活研究会（ラブリ）</p>	
<p><質疑応答></p>	
<p>大津選定員</p>	<p>発表ありがとうございました。</p> <p>確認も含めていくつかお聞きします。</p> <p>これまでもラブリさんにつきましては生ごみの堆肥化という活動は継続されてやってきてみえると思いますが、今、最後の説明にありましたように拡充するために今回申請していただいたという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>生ごみの排出家庭の拡大は各種イベントでの参加呼びかけと記載がありますが、具体的にはどんなイベントでの呼びかけを想定しているのかということと、堆肥化の処理能力の拡大では支援会員を3名補強してという記載がありまして、今回増強する3名が実施体制にありません支援会員3名とイコールということですか。</p>
<p>循環型生活研究会（ラブリ）</p>	<p>そういうことです。</p> <p>参加の呼びかけなんですけど、今日も2階でやっている古い着物を集めてそれを趣味の活動だとかそういった集まりに60名ほどの方が来ていただいている、そういったときに呼びかけるようにしています。</p> <p>もう一つ強調したいことは、この活動を拡大していくことを願っているんですけど、三方一両の得ということですね、市も市民も私どもも皆が一両の得をするということを狙っております。</p> <p>市は燃えるごみの削減、市民は生ごみを提供していただくと同時に野菜をいただく、私どもは農業生産のコストを下げることと、もう一つ私ども作りすぎた時に配布できるというメリットがあります。以上が私どもの目玉としておりますが、なかなか参加する農家の方が今のところ少ないということが悩みの種です。</p>
<p>大津選定員</p>	<p>産直友の会の会員は何人くらいいるのですか。</p>
<p>循環型生活研究会（ラブリ）</p>	<p>200名くらいはいます。活発に活動しているのは100名くらい。その方々がこれに参加していただくと、うまく動き出すと思うんですが、今それをいろいろ画策しているところです。</p>
<p>大津選定員</p>	<p>ラブリさんの活動につきましては、ごみの削減、資源の有効利用、農業を身近に感じてもらう、あと食育にもつながる大変意義のある活動だと思いますので、成果につながる内容になることを期待しております。</p>

<事業説明>	
③一般社団法人 ジモートアート	
<質疑応答>	
山田選定員	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>なかなか大人でもこういう音楽活動って、敷居が高い部分がありまして、参加しづらいなあと自分の中で思っていたんで、ましてやお子さんを連れていくのは、なかなか機会に恵まれないこともあって、いい活動だなとすごく思いました。</p> <p>実際に演奏していただくグループさんとかそういった団体さんにつきましては、どのような感じで接触されて選ばれているのか、そのあたりをお聞きしたいです。</p>
一般社団法人 ジモートアート	<p>弊社に事業コーディネーターとして、私の夫ではあるんですけども、春日井市文化財団に勤めており同じような事業をしているんですけども、そこからアドバイスをもらって適したアーティストを選定しています。なので、経験がある人と尾張旭市内で音楽活動をなさっている人にも入ってもらって事業を進めているという形です。</p>
山田選定員	<p>テレビとかCDとかで音楽を気軽に聴けるのかなとも思いますけれども、やっぱり生演奏であると、それぞれのお子さんたちにおいて気づきが違う部分があると思いますので、ぜひまた広げていただけたらなと思います。</p>
<事業説明>	
④コミュニティー・ホッ，ト・たいむ	
<質疑応答>	
齊藤選定員	<p>どうも、発表ありがとうございました。いつも岡山さんのプレゼンとても元気で、参加される方も岡山さんの元気をいっぱいもらって帰って行かれているのかなと思います。</p>
コミュニティー・ ホッ，ト・たいむ	<p>みなさんが笑顔になって帰られるのが、一番嬉しいです。</p>
齊藤選定員	<p>それだけでもとてもすばらしい取り組みだと思うんですけども、しっかりと助成金で買われた電気炉を有効に使っていただいて、精力的に活動なさっているんだなというところがすごく伝わってきました。</p> <p>一つ質問なんですけども、今回の計画書にですね、実施体制ということで短大生ですとか桜ヶ丘のメタセコ会とありますが。</p>

コミュニティー・ホッ, ト・たいむ	メタセコ会は夫の散歩仲間の会で、毎年展示を手伝ってもらっています。
齊藤選定員	イベントではたくさんの参加者さんたちがいますが、運営側のスタッフもかなりいるんじゃないかな思ったので、何人くらい短大生さんとかメタセコ会の方はみえるのですか？
コミュニティー・ホッ, ト・たいむ	メタセコ会は10名ほどおります。 短大生たちはさすがに現役の若い人なので、私の感性にはないものがある。例えば、子どもたちが「どうやって書こう…」って時に「何書いたっていいんだよ。ワンピースって書いたっていいんだよ」とアドバイスするんですね、そうすると子どもたちは堂々と書きます。あとプラスで絵・イラストも書く。若い力ですね、だから自分の活動は市民に広げるのもあり、後継者を育てる意味でもあり、今年もインターンシップをお預かりする予定であります。
<事業説明>	
⑤NPO法人 ルカ子ども発達支援ルーム	
<質疑応答>	
山田選定員	プレゼン、お疲れさまでした。 聞いていまして、すごく楽しそうな会なんだなというのが、ひしひしと伝わってくる気がしました。 それで2点ほど質問なんですけども、まず、「新規に増やす」とプレゼンの中でおっしゃってみえましたけども、その辺の方法というのは、具体的に何かありましたら、教えていただければと思います。
NPO法人 ルカ子ども発達支援ルーム	チラシを支援センターを通して市内の保育園とか子育て支援センターに配らせていただいたりとかインスタグラムをやっているので、そこで活動の様子をアップしたりということをやっています。 そうした中でも最近就労されてるお母さんも増えてきたこともあって、なかなか新しい方が来ないなってところもあったんですけども、来てくださった方に次の御案内を直接して、なんとなく一人ずつじわじわ友達を連れてきてくれたりとかがあって、地道なやり方なんですけども増えてきたなと思っています。
山田選定員	また、効果とか出ましたら教えていただければなと思います。もう1点、「他団体との連携」というふうにありましたけども、どのような方法でそういう団体さんにたどり着くとかマッチングする方法を教えてください。

NPO法人 ルカ 子ども発達支援ル ーム	私、いつも突然依頼をしちゃうんですけども、いいなと思った先生とか団体さんがいたら連絡をとって、ルカ子ども発達支援ルームの活動の趣旨を説明して御理解いただいて、今年かかわってくれているリトミックの先生とかは、何年か継続して来ていただいているんですけども、最初はそんな形をお願いをして、この活動にも理解を示してくださって、発達が気になる子もいるってところで配慮いただきながら、毎年やっていただいている形です。
山田選定員	ありがとうございます。これからも広がっていくといいなと思いつつ頑張っていたきたいと思います。
<事業説明>	
⑥尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会	
<質疑応答>	
西村選定員	<p>プレゼンテーションありがとうございました。</p> <p>コロナの経験というところが他の団体さんもそうですけど大変だったかなと思います。</p> <p>2つお聞きしたいんですが、まず1つ目が参加者の方の年齢層の幅が広く、市民の方からも大変喜ばれている活動だなあということの現れだと思いますが、延べ200名の方が参加されてという話があったんですけども、わかる範囲でいいので、だいたい繰り返し参加されている方だったり1回だけの方だったりいらっしゃると思うんですけどもこの比率ですね毎回初めての方がどれくらいとか、繰り返しの方はほぼ毎年来られているとか、そのあたりの分類についてわかる範囲でお願いします。</p>
尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会	<p>詳しい人数は手元に資料がなくお答えできないんですが、1回参加してくれると何回も、こないだ舞台が楽しかったから、じゃあもう1回やってみようかなっていうのはけっこう多くて、リピーターは5人～10人くらいですね。</p> <p>学生とかはテストがあつたりとか社会人の方も仕事があつたりするんですけど、年2回、8月と2月にやっています、8月は出れないけど2月は頑張ってみようかなとかその逆だったり、毎回ではないんですけども1回参加してくださった方は、楽しかったからじゃあまたやりたいなって人が多いです。</p>

西村選定員	参加者の自己PRされたいというところで、リピーターが増えてくると、ありがたい面もありつつ、一方でその参加希望者の方が多すぎて参加できないというケースはあるのでしょうか。
尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会	それはございません。出たいって言っていただいた方は全て舞台に立っていただきます。オーディションというのはないんですけども、自己PRで出たいという気持ちを全面に押し出していただいて、脚本は、その出演者の個性を活かしたオリジナルの脚本でありますので、毎回のびのびと初心者の方でも演技を楽しんでいただいております。
西村選定員	人数が多かったり少なかったり企画とか大変ですよ。
尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会	その時の人数に応じた舞台づくりっていう感じになります。
西村選定員	最後にもう1点、参加費、気軽に参加が5,000円からというところで、確かにこれだけのフルオーダーメイドのミュージカルに参加するって、すごく価値のあるものだと思うんですが、広く市民の方に参加していただくというと、参加費を抑えられる工夫とかがあると嬉しいなと思ったりするんですが、その辺りいかがでしょうか。
尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会	<p>外部の演出家の先生と作曲の先生はほんとにボランティア価格で、ほんとはもうちょっとお支払いしたいんですけども、その方たちも市民の方が一生懸命舞台を楽しむという姿勢を見てくださっていて、ボランティア価格でやっていただいています。あと衣装とかも自前で用意してまして、抑えるところは切り詰めてやっております。</p> <p>コロナ禍で参加者がぐっと減り、現状参加者が少なすぎて苦しいです。なので、参加費もコロナ前と比べて値上げをしています。今後参加者をいかに増やしていくかということが1つこの団体の課題となっていると思います。出演者が増えれば、減額も考えられるかと思いません。</p>
西村選定員	今回の助成金も活用いただき、少しでも足しになればというところもありますし、なんらか他の収入のことも、寄付だったり、広告収入だったりを一度検討されるといいかもしれないなというふうに思いました。引き続き本来の活動とそういった部分と手間がとられて大変な部分もありますけども、そういったところも将来的に考えていただければいいかと思いません。

⑦Club Atletico GIRASOL	
<質疑応答>	
齊藤選定員	<p>発表どうもありがとうございました。</p> <p>非常にわかりやすい、どういった目的で何を目指して発表されているのかがすごく良くわかるプレゼンテーションだったなと思いました。</p> <p>参加者580名とあるんですが、かなり多いなという感じがするんですけども、参加者を集める見通しってどれくらいありますでしょうか。</p>
Club Atletico GIRASOL	<p>1回ではなく、何回かやる中のトータルの人数です。1回あたり1チームを6人で試合ををするとして、倍の12人、複数の家族でサッカーできたらいいなど。1チームの人数×チーム数×回数となって、リピーターの方も初めての方もいるかもしれない。普通の親子参加のファミリーサッカーフェスティバルがだいたい1回あたり100人来ていただいているので、それを積み重ねると期待はできるかなという状況です。</p>
齊藤選定員	<p>第3日曜のあさびーファミリーデーに開催したいということですが、これも参加者をできるだけ増やしたいということですね。</p> <p>あと、サッカーゴールを購入するとのことで、純粋な質問なんですが、保管する場所はあるんですか。</p>
Club Atletico GIRASOL	<p>クラブの事務所に保管できます。小さいゴールを分解して保管します。</p>
齊藤選定員	<p>あと、全く余談なんですが、団体名がスペインにあるサッカーチームのようで、しかもGIRASOLはひまわりですよね。すごく粋な名前がついてるなと思ひまして。</p>
Club Atletico GIRASOL	<p>自分がメキシコにいたものですから。</p> <p>あと、GIRASOLは市の花がひまわりなので</p>
⑧尾張旭家族でクラシック実行委員会 (KAZOCLA・ASAHI)	
<質疑応答>	

<p>大津選定員</p>	<p>発表どうもありがとうございました。</p> <p>昨年度に引き続いて、生演奏をありがとうございます。</p> <p>まさにKAZOCLAさんの活動内容については、一見敷居が高いと思われがちなクラシックのターゲットを若い世代や子どもたちにあてているところが、まさに事業の名称どおりだなあというふうに感じております。</p> <p>実は昨年度のプレゼンを聞きまして、国内外からアーティストをお招きし、入場料が一般の方が1,000円で18歳以下の方が500円だったと思うんですけど、今回は19歳以上の大人だけが1,000円ということで、さきほど収支が赤字ということもありましたけど、本当に大丈夫なのかなと、こちらが心配になってしまっているところなんです。</p> <p>昨年度の質問でもあったと思うんですが、昨年は活動を始めて1年、初めてで家族の時間が持ちづらい家庭であるとかひとり親家庭へのアプローチが課題であるとの話があったと思うんですけども、1年間やってみてその辺の課題についてはいろいろ今考えてみえるという話もありましたが、解消はされましたでしょうか。</p>
<p>尾張旭家族でクラシック実行委員会 (KAZOCLA・ASAHI)</p>	<p>解消とまでいくことはできないので、私の課題ではあるんですけども、私たちもそれぞれ仕事があり、どこの団体さんも一緒だと思うんですけども、この事業だけに集中して行っていくところが難しくありまして、本当に私は地域でボランティアを頑張られている方や子どもたちがこういった音楽会に行く機会がない所に本当に直接行って、一緒にやろうっていうふうに言いたいのは山々なんですけども、なかなかそこまで正直できていないところがありまして、前回8月にバイオリストのロマン・パトチュカが来たときには、そういった活動をメインにそういった人たちに声かけができていたんですけども、今後も営業の方をしっかりと行って、さきほど最後に一元的にホームページみたいな形なんですけども、そういったことからアクセスしてもらえそうなものをこちらからもう少しインターネットでSNSで発信できるようなことしていくと、それこそさきほどもおっしゃっていた不登校であったりそういったところの方たちにも発信できるような何かしていきたいなとは思ってはいます。</p> <p>ただ、昨年度の手ごたえとしては、お客さんには少しは来てもらった。招待することができたというのは入場者数を見ますと増えていたので、その辺はできたのではないかと考えています。</p>

大津選定員	クリスマスコンサート、イトーヨーカドーのストリートライブ、古民家でのコンサートなど、ぜひ成功となることを期待します。
<選定員講評>	
西村選定員	<p>今日、プレゼンテーションされた団体の皆さん、お疲れさまでした。大きくまとめて3点お話しします。</p> <p>1つ目が団体としては連続性というか発展性について</p> <p>2つ目が世代交代というキーワードについて</p> <p>3つ目が最終のゴールとか目標について</p> <p>助成金のプレゼンテーションの場でおおむね年に2回、今日の発表の場と12月の中間報告会の場で2回皆さんの顔を拝見する機会があるんですが、やはり昨年とか一昨年とか連続的に助成金を活用されている団体さんもありまして、昨年度の事業でこういう失敗ですとか想定していないことがあったというところでそれを今年度の事業に活かしていただいているというところは、非常に心強いなというふうに感じているところです。</p> <p>やはり、やってみないとわからない部分ってあると思いますので、そこは1つ1つですね、もちろん単年度で解決し得ない課題や問題もあると思うんですけども、1つ1つ対応をして、より良い活動・より良い団体にしていただけるといいなと思います。</p> <p>コミュニティー・ホッ、ト・たいむさんが助成金で買われた電気炉が使っていただけていることが嬉しく感じました。</p> <p>2つ目の世代交代というキーワードですが、誰しもが1年経てば1年歳をとるわけですよ。団体としてやっていくと、会員のメンバーの平均年齢もやはり1年ずつ上がっていくんですよ。その時に中長期的な話かもしれませんが、じゃあ2年後・3年後・5年後をどうしていくかなってところが1つの課題だと思います。もう1つ結構忘れがちなのが、対象としている参加者の方も1歳ずつ歳をとっていくわけなんですよね。特に子育て支援関係でよくあるのが、団体の皆さんが自分の子育ての経験から団体を作って運営していこうというところが活動の基準とかです。そうすると最初が未就学児の子どもたちを対象としている活動だったのが、5年10年経つと、自分たちも歳をとって関わっている子どもたちも歳をとってくるので、今度小学生を対象の事業で次は高校生対象の事業というふうに発展している団体さんが結構多い。なかなかそこまで先のことを今すぐ考えるのは難しいかもしれませんが、そういったことが、これから起こってくるっていうと</p>

	<p>ころはありますので、逆にそれが今、目の前のサポートしていく対象の方としっかりコミュニケーションをとってその子どもたちとかその親御さんも1年後2年後には歳をとって次の課題がきっと発生してくるので、それに対して支援者側としてどういう対応をすれば良いのかといったところが、1年間の活動をしながら考えていただけると、また次、来年度の活動にきっと活かせるのかなと思います。自分たちの世代交代の部分と支援対象も歳をとっていくということを頭の片隅に入れておいていただけるといいと思います。</p> <p>3点目、最終ゴールですね。</p> <p>今回の発表の団体さんの中で言うとジモートアートさんが市の事業にあげていきたいという非常に大きな構想を掲げておられて、やっぱりこういったところが市民活動の役割だと思う。社会の中で市の事業、市がまだ行政施策としてできていないものを市民がいかにそこを補完していく、それを提言していくというところですね。</p> <p>他の福祉的な事業でもそうだと思います。行政が全部できたらNPOの活動はいらないわけなんですよ。極端な話をするとですけど、自分たち皆さんの団体として、こんな社会をつくりたいという大きな思いがあると思いますので、ぜひ、そういったところは普段の活動の打合せの中で話されていると思うんですけども、こういったプレゼンの場でもですね、大風呂敷ぜひ広げていただきたいと思います。僕らのこういった場ってそういったことを笑うようなメンツではないので、なかなか一般的には伝わりにくい部分もあるかもしれませんが、ぜひそういったこういう社会を作りたい、こんな尾張旭にしたいんだというところの大風呂敷をこれからも広げてっていただきたいです。</p>
<p>大津選定員</p>	<p>皆さん、発表どうもお疲れ様でした。今回も子育て・文化・スポーツ・環境などなどいろんな分野での発表、興味を持ってお聴きすることができました。今日はこの会場に8つの団体がお集まりになってみえて、普段こうして一堂に会する機会はなかなかないと思いますので普段の中でそれぞれ課題であったり困っていることなどがあると思うんです。ある団体では困っている内容かもしれないですけど、他の団体だとそこを得意にしているような団体もあると思いますので、せっかくの機会ですので、積極的に団体さんどうしで交流を持っていただけたら、この場が大変有意義なものになるのではないかなと思います。</p> <p>あと、皆さんが普段活動することで地域が元気になったり、市内が賑わいで満たされたり活発になると自分は信じておりますので、これからも皆さん楽しんで活動していただければなあと期待をしております。</p>

	す。
山田選定員	<p>皆さん、どうもお疲れ様でした。今回まさに市民活動団体さんのプレゼンテーションというものに参加するというのは私自身初めてであり、ワクワクした気持ちを持ちつつ、審査する立場ということで非常に緊張感入り混じった気持ちの中で参加させていただいたんですけども、皆さんが本当に楽しんでいらっしゃるなというのがすごく感じられたんで、私も緊張感がほぐれて、いろいろ勉強になることもあって、大変意義のある参加だったと思います。皆さんやっぱり目的や必要性とか効果とかそういうことが大事なんだとは思いますがけれども、まずは運営されている方々が楽しんでやっているっていうのが皆さんに伝わるとと思います。私も地元のほうで警固祭りという火縄銃を撃って練り歩くお祭りに参加しているんですけども、やっぱり運営する側が楽しんでそれで参加してきた人たちが楽しいって言ってもらって仲間が増えていくっていうことで頑張っ活動しておりますので、皆さんと同じ思いになる部分もあったのかなというふうに感じますので、引き続き皆さんも楽しんで活動を続けられていただけたらいいなと思います。</p>
<会長総評>	
齊藤選定員	<p>皆さんどうも、プレゼンテーションお疲れさまでした。</p> <p>そして非常に興味深い活動の御紹介ありがとうございました。</p> <p>私のほうからは3点ほどあるんですけども、まず1つ目にですね、今回の皆さんのプレゼンテーションお聞きして、1つ目に活動の内容のレベル自体は非常にあがっているなということを思いました。</p> <p>つまり、市民活動って評価のポイントとして公益性・市民性というポイントがあるんですけども、ほんと皆さんが尾張旭市をより良い街・住み良い街にするために、あるいは尾張旭のひとたちのためにやりたいんだという気持ちがとても伝わってきて、その辺りがですね、これまでもそうだったんですけども、すごく公益性・市民性の高い事業内容が多いのかなというのはすごく考えました。ほんとに尾張旭の人々のウェルビーイングというか幸せを考えた、大げさに言うとそういう事業ばかりかなと思いました。</p> <p>事業内容についてももう1つ言うならば、非常に専門性が高いという意味でもレベルが高いなと思いました。</p> <p>GIRASOLさんのワンランク上のスポーツシーンを目指すとかコルミッコさんの現場経験のあるスタッフさんを揃えられていたりですとか、文化・芸術関係の方々もそうなんですけど、非常に専門性の</p>

高いハイクオリティなものを提供しようとしているところで、すごくレベルが高い活動が多いなと思いました。

あとラブリさんもSDGsを意識されていたりとか、循環型社会を実現しようとして、すごく大きな視野でもって取り組まれているというところとかというのが1つ目です。

2つ目にプレゼンテーションそのもの、事業内容もそうなんですけども、ここで発表していただいたプレゼンの仕方とか内容自体もすごく昨年度までと比べてさらにレベルアップしているなと感じました。

例えば、動画をみせてくださったりとか、あとデータでこういうことをやりたいのには、こういう根拠があるんだっていうことをデータで示してくださったりですとか、最後のKAZOCLAさんは実演もあって、すごく自分たちの活動だとかを皆さんに伝えるためにいかにしたら伝わるかということをお考えしてやってくださっているなということが伝わってきましたし、何よりも皆さんの声とか話し方ですね、伝えたいと思ってお話しをされているということがすごく伝わってきました。

よくプレゼンテーションの授業で、声はその人のやる気を表すということをよく言うんですけども、大事なことで、大きな声とか思いを込めて話すとか。

なので、それがすごく話し方とか声というところで皆さんの気合とか熱意とか尾張旭や尾張旭の市民の皆さんに対する思いみたいなものが伝わってきました。

市民活動と言ったときに、ただ自分たちがやりたいと思っている事業をやって実現しました。で、そこまでじゃなくて、いくつかの団体さんはきちんと振り返りをされてみえましたよね、アンケートをとったりだとか。振り返りの研修会をしたりだとか、それもすごく大事なことだと思うんですね、やっぱりさきほど山田選定員さんが言ってくださったように、自分たちが楽しむということは、すごく大事なことで大前提なんですけども、やっぱりそれをやりっぱなしとか自己満足ではなくって、次につなげるため、より良いものにするために、やっぱり自分たちがやってきたことを振り返ってすごく大事だと思うんですね。そういったことを含めてですね、このプレゼンテーションの会ってというのは、あの団体さんのこういうところいいなとか、ちょっとこういうふうにしてみようという、お互い学びあいの場になるんじゃないかなと思って、ぜひそういうことを意識していただくといいのかなと思いました。

あと、3つ目なんですけども、どこの団体さんもやっぱりいかに参

加者を増やすかっていうところでいろいろ工夫をされていると思うんですね、なかなか広報という問題があると思うんですけども、難しいですよ、例えば私の大学で教員やっていてオープンキャンパスって大学のイベントやるんですけども、大学まで来てくだされば、大学の魅力がわかってもらえるんですけども、来てもらうまでが難しいんですね。いかにして皆さんにそれをお伝えすればいいのか、参加者を増やすことができるのかということを考えているんですけども、たぶん2つくらい重要なポイントがあって、1つはやっぱり気軽に参加しやすいっていう設定にするってことですね。さきほどルカさんが施設利用料を無料にされたとおっしゃっていたんですけども、それだけでもちがうと思う、参加しやすくなると思いますし、あと、ミュージカルを作ろうの「がっつり参加」とか「はじめて参加」とかその人のニーズに合わせた参加の仕方ができる、気軽に誰もが参加できるということがすごく重要だと思うので、その気軽に参加、もちろんすべて無料でできるわけじゃないですけども、気軽に皆さんも参加していただけるという設定って結構重要なポイントなのかなと思いました。

あとやっぱり広報といったときに、今いろいろ手段があるんですけども、この規模感の市民活動であると、尾張旭の街の規模を考えるとSNSとかも全然ありなんですけども、そんなに遠くから人がやってくるってこと、想定してないですよ。

そうすると、やっぱりクチコミとかフェイス トゥー フェイスのコミュニケーションの中で輪を広げていくというのは、地味ではあるんですけども着実なのかなと思います。

SNSとかだと、これってよく分からないからとか、いいのか悪いのか判断つかないところがあると思うんですね。

知っている人からとか友達からとかだったら信頼関係が既にあるので大丈夫だと安心して参加できるようになると思うんですね、SNSとかを活用するというのも重要なツールなんですけども、やっぱり同時にオーソドックスかもしれないけどもクチコミとかで着実に輪を広げていくのも大変重要かと思いました。

あと最後に今日文化とか芸術に関する団体さんがいらしてですね、その方たちが話してくださった言葉の中にすごく印象に残った言葉があって、文化っていうのは生活になくても困らないし、あるいはすぐに成果が出ないかもしれない、だけれどもそれが人の心を豊かにするんだということを皆さん共通しておっしゃっていて、それってすごく大事だと思うんですね、やっぱり企業だと利益を出さなきゃいけないということが第1位になってしまいますし、やっぱり行政だと皆

	<p>さん等しくサービスを提供するっていうことが大事になるので、さきほどもおっしゃっていた行政も企業もできないことですよね。そういった、少し急いでもいないし利益を出さなきゃいけないのが第1位でもないし、だけれども豊かな地域とか豊かな市民をつくるということに貢献したいというですね、そういった意味ですごく市民活動においてそういった意識すごく大事だなと思って、大事なことを教えていただいた気がしました。</p>
<p><閉会あいさつ></p>	
<p>事務局</p>	<p>本日の公開プレゼンテーションは以上で終了します。</p>